

匿名通報ダイヤル 求む暴力団情報 警察庁

現役組員の方も待っています。警察庁は4月から、犯罪に関する情報を募っている「匿名通報ダイヤル」で、新たに暴力団や拳銃などの情報提供を求める。容疑者の逮捕につながらなくても、捜査に役立つと認めれば情報料5千円を支払う制度も新設した。情報料の最高額10万円は変わらない。

求める情報は、暴力団員によるさまざまな犯罪や組織の

資金集めに関するものなど「何でも大歓迎。提供者の身元を明かす必要がないので内部告発もどうぞ」(担当者)という。「社会全体での暴力団排除」に取り組んでいる警察だが、自前の情報収集力低下に悩んでいることが背景にある。

企業襲撃や抗争などによく使われているのに警察による押収が低調な拳銃のほか、犯罪を支える基盤とされる地下

銀行や偽装結婚の情報もほしいという。

「警察に直接通報するのは気が重い」という人に配慮し、通報窓口は警察庁が一般競争入札で委託を決めたネット関連事業の会社「リンクファシリティーズ」(本社・静岡県御殿場市)にした。同社の担当者は「情報提供者に対応する社員には、個人情報の保護や流出防止の教育を施し、暴力団関係者とのやり取

りに備えて警察庁で研修を受けた」と話す。

担当者が電話で対応する受け付けは、4月2日からフリーダイヤル(0120・924・839、平日の午前9時半～午後6時15分)で始める。専用ホームページ<http://www.okumei24.jp>への書き込みによる提供は、1日から24時間態勢で受け付ける。

広く情報を求める制度としてはほかに、警察が2008年に始めた「けん銃110番」(フリーダイヤル0120・10・3774)がある。

(編集委員・緒方健二)